

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年9月24日(2020.9.24)

【公開番号】特開2018-175327(P2018-175327A)

【公開日】平成30年11月15日(2018.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-044

【出願番号】特願2017-78595(P2017-78595)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月7日(2020.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を使用した遊技が可能な遊技機であって、

遊技者の操作に基づいて遊技媒体を発射可能な発射手段と、

遊技の進行を制御するとともに、電力供給の停止後に電力供給を受けた際に遊技状態の復旧処理を実行可能な第1制御手段と、

遊技媒体が流下する流下経路のうちの特定経路を流下するように遊技媒体を発射することを促進するための促進表示と、前記復旧処理に関する復旧表示と、を表示可能な表示手段と、

前記表示手段とは異なる手段であって、前記特定経路を流下するように遊技媒体を発射することを促進するための促進報知が可能な報知手段と、

前記第1制御手段から送信される情報に基づいて、前記表示手段における表示を制御する第2制御手段と、

優先度が異なる複数種類の事象に対応して異常を判定可能な異常判定手段と、

前記異常判定手段によって異常が判定されたときに、該判定された異常についての報知を行うことが可能な異常報知手段と、

前記異常判定手段によって異常が判定されたことにもとづいて、該判定された異常に対応した状態に制御する状態制御手段と、

を備え、

前記第2制御手段は、前記復旧表示とともに前記促進表示を表示する制御が可能であり

前記異常報知手段は、前記異常判定手段により新たに判定された異常の優先度が報知中の異常の優先度よりも高い場合に該報知を終了して新たに判定された異常の報知を開始する一方、前記状態制御手段により制御されている状態が所定状態であるときに、前記異常判定手段によって新たな異常が判定された場合において、異常の優先度にかかわらず前記所定状態の制御の契機となった異常についての報知を継続し、

前記第2制御手段は、前記報知手段による前記促進報知を制御可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記課題を解決するために、本発明の請求項1に記載の遊技機は、遊技媒体（例えば、遊技球）を使用した遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

遊技者の操作に基づいて遊技媒体を発射可能な発射手段（例えば、打球操作ハンドルや打球発射装置）と、

遊技の進行を制御するとともに、電力供給の停止後に電力供給を受けた際に遊技状態の復旧処理（例えば、遊技制御メイン処理におけるSa41～Sa48）を実行可能な第1制御手段（例えば、CPU103）と、

遊技媒体が流下する流下経路のうちの特定経路（例えば、右遊技領域10R）を流下するように遊技媒体を発射することを促進するための促進表示（例えば、右打ち報知画像）と、前記復旧処理に関する復旧表示（例えば、電断復旧画面）と、を表示可能な表示手段（例えば、演出表示装置5）と、

前記表示手段とは異なる手段であって、前記特定経路を流下するように遊技媒体を発射することを促進するための促進報知が可能な報知手段（例えば、右打ち報知用LED30）と、

前記第1制御手段から送信される情報（例えば、実施例における右打ち報知用LED点灯指定コマンドや、変形例1における遊技状態指定コマンド）に基づいて、前記表示手段における表示を制御する第2制御手段（例えば、演出制御用CPU120）と、

優先度が異なる複数種類の事象に対応して異常を判定可能な異常判定手段と、

前記異常判定手段によって異常が判定されたときに、該判定された異常についての報知を行うことが可能な異常報知手段と、

前記異常判定手段によって異常が判定されたことにもとづいて、該判定された異常に対応した状態に制御する状態制御手段と、

を備え、

前記第2制御手段は、前記復旧表示とともに前記促進表示を表示する制御が可能であり（例えば、図25及び図27に示すように、演出制御用CPU120が右打ち報知処理と電断復旧画面表示処理を実行することで演出表示装置5に電断復旧画面と右打ち報知画像とを表示する部分）、

前記異常報知手段は、前記異常判定手段により新たに判定された異常の優先度が報知中の異常の優先度よりも高い場合に該報知を終了して新たに判定された異常の報知を開始する一方、前記状態制御手段により制御されている状態が所定状態であるときに、前記異常判定手段によって新たな異常が判定された場合において、異常の優先度にかかわらず前記所定状態の制御の契機となった異常についての報知を継続し、

前記第2制御手段は、前記報知手段による前記促進報知を制御可能であることを特徴としている。

この特徴によれば、遊技状態の復旧時において、遊技者の不利益の発生を低減することができる。